



# 島根県立農林大学校

## ぶどう(デラウェア)

### 農産第28号

#### ■認証者の概要

【氏名・名称】島根県立農林大学校 果樹専攻 学生5名  
【所在地】〒699-2211 大田市波根町970-1  
【電話】 0854-85-7011  
【FAX】 0854-85-7113  
【ホームページアドレス】<http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyodaigakko/>



#### ■取組方針

・近年、食の安全・安心に対する消費者意識の高まりから、農林大学校では平成24年度に有機農業専攻を創設するなど、社会ニーズに対応した魅力ある農林大学校づくりに向けた取組みを行っています。  
・この様な取組みの一環として、果樹専攻では、美味しまね認証に取り組むことにより、消費者に安全でおいしいぶどうを届けること、学生の生産工程管理に対する意識や、経営管理レベルの向上を図ることを目的に平成23年度から学生を中心に検討してきて今回の認証取得に至りました。

#### ■取組内容の特色

・本県の主要果樹であるぶどう、西条柿、梨をはじめ今後消費拡大が期待されているブルーベリー、さくらんぼ、すもも等を栽培しています。  
・ぶどうの「シャインマスカット」、梨の「なつしずく」等の新品種や養液土耕栽培システム、ジョイント仕立て等の新技術を導入しながら、先進的果樹経営を目指し、日々の実践により栽培技術・知識を習得します。

#### ■生産・販売の概要(認証に関する)

●生産規模 ぶどう棚面積11.5a ●栽培品種 デラウェア  
●販売量 1.6t  
●販売先 校内販売および青果市場での販売

#### ■生産工程の概要・特徴(作業フロー等)

●二重被覆、自動換気装置により燃料の節減を図っている  
●生産力を維持するため計画的に樹を更新する  
●「肥料は過ぎず切らさず」の基本にのっとり、減肥しながら健全な生育を図るため少量多回数の施肥と灌水を心がける  
●日頃からぶどう園を丁寧に観察することで適期防除に努め、必要の無い防除は行わない  
●糖度が20度以上になり、十分に酸が抜け、甘くなってから収穫する  
●施設や用具を栽培用と選果調製用に分ける

#### ■認証を取得しての感想

・各種記録簿を付けるのは大変だが、過去の記録が後日ぶどうの出来映えを検証する際に役立つことがわかった。  
・環境整備に対する意識が高まり、ほ場内及び各施設がきれいになった。

#### ■課題及び今後の事業展開

●今のところ、1ハウスだけでの取組みであるが徐々に他のハウスでも取組みたい。  
●取得した認証の理念や作業工程等を後輩へバトンタッチして、農大での学習テーマとして定着させたい。